

**令和 2 年度  
十島村（島内加入者光ファイバ網）  
高度無線環境整備推進事業仕様書  
【設計・施工、施設運営事業】**

**令和 2 年 5 月**

**鹿児島県 十島村**

# 目 次

第 1 章 総則.....	4
1 目 的 .....	4
第 2 章 基本事項 .....	4
1 適用範囲 .....	4
2 事業場所 .....	4
3 事業概要 .....	4
4 事業範囲 .....	5
5 事業の設計・施工に係る期間 .....	5
6 関係法令及び規則の遵守 .....	5
7 設計及び施工基準 .....	5
8 検査、引き渡し .....	6
9 保証期間 .....	6
10 疑義変更 .....	6
11 設計原則 .....	6
12 提案条件 .....	6
第 3 章 調査・実施設計 .....	7
1 目的 .....	7
2 計画概要 .....	7
3 作業場所、工事区間 .....	8
4 調査、設計工程数量等 .....	9
5 作業実施に係る安全等注意事項 .....	9
6 提出書類等 .....	9
第 4 章 工事施工 .....	10
1 目 的 .....	10
2 計画概要 .....	10
3 施工条件（施工に当たり考慮しなければならない重要事項） .....	12
5 提出書類等 .....	12
6 その他 .....	13
第 5 章 機器・材料 .....	13
1 陸上部光ファイバケーブル .....	13

2 陸上部光ファイバケーブル用クロージャ .....	1 3
3 埋設設備スーパーボックス及びフィンガーボックス.....	1 4
第6章 豊富な機能を有した光ブロードバンド回線サービスメニュー .....	1 4
1 光ブロードバンド回線サービス .....	1 4
2 広域イーサネット回線サービス若しくはそれに相当する機能を有した回線サービス.....	1 5
第7章 運営、維持管理 .....	1 5
1 I R U契約要件.....	1 5
2 資産区分及びI R U契約対象範囲 .....	1 6
3 有償I R U契約対象設備の保守内容及び保守要件 .....	1 7

## 第1章 総則

### 1 目的

昨今、情報通信技術の発展はめざましく、光サービスやスマートフォンの普及により、一層多様化と高度化が進む中、十島村では中継回線がデジタル無線設備となっており、住民からはスピードや機器故障によるサービス停止など改善を求める声があがっている。

対策として、中之島～諏訪之瀬島～平島間、口之島～中之島間、宝島～小宝島間に海底光ケーブルを敷設し、携帯電話事業者にLTE回線等を提供することや、光回線を利用したサービス提供ができるブロードバンド基盤を整備することと無線局を設置することで本土との通信環境の地域間格差を解消していく。将来の住民サービスに対して、安定した通信環境はもちろんの事、住民生活や産業などあらゆる分野に於いて地域振興、住民サービス向上を図ることを目的とする。

## 第2章 基本事項

### 1 適用範囲

本仕様書は、「令和2年度十島村(島内加入者光ファイバ網)高度無線環境整備推進事業に係る設計・施工、施設運営事業者選定プロポーザル」について適用する。

### 2 事業場所

鹿児島県鹿児島郡十島村(口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島)

詳細は、別紙1「光ファイバケーブル等敷設ルート概略図」を参照すること。

### 3 事業概要

#### (1) 情報通信基盤の整備

##### ア 調査・測量・実施設計

対象地域において光ファイバケーブル及び関連機器の調査設計、対象施設の引込光ファイバケーブル調査設計、地下埋設設備調査・測量設計、その他必要な調査設計を実施する。

##### イ 工事施工

実施設計の成果をもとに、光ファイバケーブル及び関連機器の製造、敷設・設置、対象施設の引込ケーブル敷設、地下埋設設備工事、その他必要な工事を行う。

#### (2) 情報通信基盤の運営及び維持管理

情報通信基盤の整備後、令和2年度十島村(島内加入者光ファイバ網)高度無線環境整備推進事業に係る設計・施工、施設運営事業者選定プロポーザルにおける選定事業者(以下「選定事業者」という。)は、光ファイバケーブル敷設等設備について、選定事業者の経営判断に基づいた迅速かつ柔軟な対応を可能とするため、公設民営方式にて保守・運用を行うこととし、IRU(Indefeasible Right of User :破棄し得ない使用权)制度を活用し、選定事業者とIRU契約を締結し、十島村が選

定事業者の有償で施設を貸し出すものとする。

また、情報通信基盤について FWA(固定無線アクセス)から光ファイバケーブルへ変わるにあたり、あらゆる業務やサービスにかかわる通信の最適な移行方法および整備後の運営も考慮する。

### (3) 光ブロードバンドサービスの提供

選定事業者は、対象地域において、「高速大容量」、「高品質」、「安定的」な通信環境を実現し、移動体通信事業者向けに 3.9 世代移動通信システム(LTE)以降のサービス提供可能な、広域イーサネット回線サービス提供及び IoT サービス等の無線利用に必要な伝送路設備等の整備を行うこととする。また、それを活用した ICT 利活用についても提示する。

## 4 事業範囲

本事業における整備エリア範囲は、整備に必要な全ての調査・測量設計、工事施工、関係官公署への諸手続き、完成検査までの一切の業務を事業範囲とする。

また、選定事業者は、十島村との IRU 契約に基づき整備した光ファイバケーブル設備等の保守・運用を行い、対象地域に光ブロードバンドサービス基盤を提供する。

## 5 事業の設計・施工に係る期間

契約締結の日(令和2年6月下旬予定)から令和3年3月31日(予定)

## 6 関係法令及び規則の遵守

本仕様書による設計・施工に当たっては、次の関係法令等を遵守すること。

- (1) 電気事業法及び施工規則
- (2) 電気通信事業法及び施工規則
- (3) 有線電気通信法及び施工規則
- (4) 環境基本法及び施工規則
- (5) 労働安全衛生法及び施工規則
- (6) 建築基準法及び施工規則
- (7) その他関係法令及び関係条例

## 7 設計及び施工基準

本工事は、本仕様書に定めるほか、次の基準及び規格等に適合するものとする。

なお、次の規格にないものは協議により決定する。

- (1) 建築設計基準
- (2) 建築設備設計基準
- (3) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編)
- (4) 公共建築改修工事共通仕様書(建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編)
- (5) 建築工事共通仕様書
- (6) 建築設備工事共通仕様書

- (7) 光ファイバケーブル施工要領・同解説
- (8) 電気通信設備工事共通仕様書
- (9) 電気通信設備設計指針
- (10) 電気通信施設設計業務共通仕様書
- (11) 日本工業規格 (JIS)
- (12) 電気規格調査会標準規格 (JEC)
- (13) 日本電機工業規格 (JEM)
- (14) 日本技術基準規格 (JES)
- (15) 電子機械工業会規格 (EIAJ)
- (16) 国土交通省土木工事標準積算基準書 (電気通信編)
- (17) 国土交通省土木工事標準積算基準書
- (18) その他、関連基準及び規格等
- (19) 無線システム普及支援事業費等補助金交付要綱及び関係基準等

## **8 検査、引き渡し**

- (1) 請負人は検査等に協力するとともに検査等に要する測定器及び人員等を請負人の負担において準備するものとする。また、検査についてはあらかじめ検査項目、内容を監督職員に提出のうえ了承を得ること。
- (2) 監督員が必要と認めた機材については、工場検査等中間検査を行う場合がある。
- (3) 本工事完成後速やかに検査を行う。この検査の合格をもって完成とする。

## **9 保証期間**

保証期間は、竣工検査合格後 1 年間とする。

ただし、発注者と選定事業者が協議の上、別に定めた消耗品についてはこの限りではない。

なお、保証期間後 10 年間、その原因が選定事業者の施工不良と判断した場合は、選定事業者の負担により速やかに修理することとする。

## **10 疑義変更**

本事業に関して、提案書として提出した内容については、基本的な部分の変更はできないものとする。

ただし、発注者と選定事業者の間で協議の上決定したものについてはこの限りではない。

## **11 設計原則**

設計に当たっては、利用者及び作業者の立場に立って設計を行い、本施工が本仕様書に照合して最適な性能を有するよう配慮すること。

## **12 提案条件**

本工事の提案条件として次の事項について考慮すること。

- (1) 選定事業者は、可能な業務については十島村内の働き手を優先使用するよう配慮すること。
- (2) 工事期間中の工期をできるだけ短縮するような工法とすること。
- (3) 選定事業者は、当初提出した提案書を基に実施設計を行うための打合せを実施することとし、実施設計終了後、承認申請を行い、承認を受けた後、施工に着手すること。
- (4) 実施設計承認後の設計変更は原則行わない。  
選定事業者の設計・施工一括受注に伴う責任施工とすること。  
ただし、不可視部分・天候不良・自然災害等の場合は、発注者と選定事業者の間で協議し決定するものとする。
- (5) 島内工事に係る材料等の輸送には、本村の定期船を可能な限り活用すること。

### 第3章 調査・実施設計

#### 1 目的

本調査・実施設計は、口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島に高速・大容量無線局の前提となる光ファイバケーブル等によるブロードバンド基盤整備を実施するためのものであり、本調査測量・実施設計にて各種データを収集し、最適な敷設ルート、配線点、分配点、引込ルートの選定を目的とする。

#### 2 計画概要

上記目的に沿った本調査測量・実施設計を適正に実施すること。また、本調査結果を基に最適な加入者光ファイバケーブル及び引込光ファイバケーブルの敷設ルートを選定し、実施設計を行い、報告書により提出すること。

なお、下記3「作業場所、工事区間」、下記4「調査、設計工程数量等」に示した内容に準じない提案も可とする。但し、変更した箇所がある場合は理由を明示すること。

##### (1) 調査・実施設計

- ア. 加入者光ファイバケーブル及び引込光ファイバケーブルの実施設計は、信頼性を確保するため、地下埋設設備でのルートを選定すること。
- イ. 光ファイバケーブル及び関連する材料は経済性を考慮すること。

##### (2) 地下埋設設備調査測量・実施設計

- ア. 下記3「作業場所、工事区間」における地下埋設設備区間の占有許認可及びその他利害関係者を調査のうえ、道路占用等により掘削、構造物埋設（地下管路、スーパーボックス、フィンガーボックス）、舗装等の作業が可能であることを確認すること。

##### (3) その他

- ア. 本調査実施に係る必要な許可・届出等の事務処理全般を行うこと。また、これらに要する経費及び工事期間における賃貸料金は、本工事費用に含めること。

### 3 作業場所、工事区間

#### (1) 加入者光ファイバケーブル(事業者収容局等～各クロージャ)

- ア. 口之島  
十島村口之島事業者収容局等～各クロージャ
- イ. 中之島  
十島村中之島事業者収容局等～各クロージャ
- ウ. 諏訪之瀬島  
十島村諏訪之瀬島事業者収容局等～各クロージャ
- エ. 平島  
十島村平島事業者収容局等～各クロージャ
- オ. 悪石島  
十島村悪石島事業者収容局等～各クロージャ
- カ. 小宝島  
十島村小宝島 BMH～各クロージャ
- キ. 宝島  
十島村宝島事業者収容局等～各クロージャ

#### (2) 引込光ファイバケーブル(各クロージャ～利用者施設等)

- ア. 口之島  
各クロージャ～利用者施設等
- イ. 中之島  
各クロージャ～利用者施設等
- ウ. 諏訪之瀬島  
各クロージャ～利用者施設等
- エ. 平島  
各クロージャ～利用者施設等
- オ. 悪石島  
各クロージャ～利用者施設等
- カ. 小宝島  
各クロージャ～利用者施設等
- キ. 宝島  
各クロージャ～利用者施設等

#### (3) 地下埋設設備(事業収容局等～利用者施設等)

- ア. 口之島  
十島村口之島事業者収容局等～利用者施設等
- イ. 中之島  
十島村中之島事業者収容局等～利用者施設等
- ウ. 諏訪之瀬島



- 十島村諏訪之瀬島事業者収容局等～利用者施設等
- エ. 平島
  - 十島村平島事業者収容局等～利用者施設等
- オ. 悪石島
  - 十島村悪石島事業者収容局等～利用者施設等
- カ. 小宝島
  - 十島村小宝島 BMH～利用者施設等
- キ. 宝島
  - 十島村宝島事業者収容局等～利用者施設等

#### 4 調査、設計工程数量等

別紙 2\_1「調査・設計数量(光ファイバケーブル)」、2\_2「調査・設計数量(地下埋設設備)」、別紙3「機器・材料数量及び施工工程数量」、のとおりとする。

#### 5 作業実施に係る安全等注意事項

##### (1) 関係法令の遵守

ア. 関係法令を遵守することはもとより、安全管理にも注意すること。

#### 6 提出書類等

##### (1) 提出先

十島村役場総務課

##### (2) 提出書類

ア. 選定事業者は、本調査、実施設計終了後、表1の提出書類を成果品として提出し、承認を受けた後、光ファイバケーブル敷設工事及び地下埋設設備の工事に着手すること。

なお、表1の項番1～2については本契約後から1週間以内に提出すること。

イ. 提出書類の形態は紙と電子化媒体で提出すること。

ウ. 部数については、原則2部を紙、1部を電子化媒体とする。

表1 提出書類

項番	提出書類	部数	備考
1	実施工程表	2部	共通
2	現場代理人及び主任技術者届	2部	共通
3	直線図(総括図、明細図)	2部	光ファイバケーブル敷設
4	線路図	2部	光ファイバケーブル敷設
5	光系統図	2部	光ファイバケーブル敷設
6	光ファイバケーブル心線接続図	2部	光ファイバケーブル敷設
7	光ファイバケーブル心線収容表	2部	光ファイバケーブル敷設

8	スプリッタ収容表	2 部	光ファイバケーブル敷設
9	架機器配置図	2 部	光ファイバケーブル敷設
10	位置図(区割図)	2 部	光ファイバケーブル敷設 地下埋設設備
11	管路図	2 部	地下埋設設備
12	平面図	2 部	地下埋設設備
13	横断図	2 部	地下埋設設備
14	展開図	2 部	光ファイバケーブル敷設 地下埋設設備
15	実施設計数量計算書及び積算根拠内訳書	2 部	共通
16	主要工程材料の品名、数量、規格及び製造会社を記述した書類	2 部	共通
17	設備の調査、施工に必要な関係官庁への申請書又は届出書類	2 部	共通
18	協議事項及び打合せ事項	適宜	共通
19	その他発注者が必要と認める書類	適宜	共通

## 第4章 工事施工

### 1 目的

本工事は、口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島地域において、加入者光ファイバケーブル敷設作業、引込光ファイバケーブル敷設作業、地下埋設設備構築作業を安全で効率的に実施し、高速情報通信基盤を整備することを目的とする。

### 2 計画概要

上記目的に沿った施工を適切に実施すること。

なお、下記に示した内容に準じない提案も可とする。但し、変更した箇所がある場合は理由を明示すること。

(1) 加入者光ファイバケーブル(事業者収容局等～各クロージャ)

ア. 口之島

十島村口之島事業者収容局等～各クロージャ

イ. 中之島

十島村中之島事業者収容局等～各クロージャ

ウ. 諏訪之瀬島

十島村諏訪之瀬島事業者収容局等～各クロージャ

エ. 平島

- 十島村平島事業者収容局等～各クロージャ
- オ. 悪石島  
十島村悪石島事業者収容局等～各クロージャ
- カ. 小宝島  
十島村小宝島 BMH～各クロージャ
- キ. 宝島  
十島村宝島事業者収容局等～各クロージャ

(2) 引込光ファイバケーブル(各クロージャ～光収容箱:各利用者施設等)

- ア. 口之島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)
- イ. 中之島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)
- ウ. 諏訪之瀬島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)
- エ. 平島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)
- オ. 悪石島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)
- カ. 小宝島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)
- キ. 宝島  
各クロージャ～光収容箱(各利用者施設等)

(3) 地下埋設設備(事業者収容局等～利用者施設等)

- ア. 口之島  
十島村口之島事業者収容局等から各利用者施設間の地下埋設管路、  
スーパーボックス及びフィンガーボックス新設
- イ. 中之島  
十島村中之島事業者収容局等から各利用者施設間の地下埋設管路、  
スーパーボックス及びフィンガーボックス新設
- ウ. 諏訪之瀬島  
十島村諏訪之瀬島事業者収容局等から各利用者施設間の地下埋設管路、  
スーパーボックス及びフィンガーボックス新設
- エ. 平島  
十島村平島事業者収容局等から各利用者施設間の地下埋設管路、  
スーパーボックス及びフィンガーボックス新設

オ. 悪石島

十島村悪石島事業者収容局等から各利用者施設間の地下埋設管路、  
スーパーボックス及びフィンガーボックス新設

カ. 小宝島

十島村小宝島 BMH から各利用者施設間の地下埋設管路、スーパーボックス  
及びフィンガーボックス新設

キ. 宝島

十島村宝島事業者収容局等から各利用者施設間の地下埋設管路、  
スーパーボックス及びフィンガーボックス新設

### 3 施工条件（施工に当たり考慮しなければならない重要事項）

- (1) 工事に際しては、付近住民等の感情を配慮して実施すること。
- (2) 利用者施設等での工事については、地権者への説明、了承を得て実施すること。
- (3) 占用許可の処理については、占用管理者等の指示に従い実施すること。

### 4 施工における機器・材料数量及び工程数量

別紙 3「機器・材料数量及び施工工程数量」のとおりとする。

ただし、別紙 3 の各数量は調査後の実施設計に基づくものとし、協議のものと変更できるものとする。

### 5 提出書類等

(1) 提出先

十島村役場総務課へ提出すること。

(2) 提出書類等

ア. 請負者は、実施設計の承認後、施工計画書を 30 日以内に提出すること。

イ. 請負者は、完成図書として工事完了後速やかに表 2 に示す書類を提出すること。

ウ. 部数については、原則 2 部を紙、1 部を電子化媒体とする。

表 2 提出書類

項番	提出書類	部数	備考
1	施工計画書及び使用材料承認図面	2 部	共通
2	出来高管理表	2 部	共通
3	直線図(総括図、明細図)	2 部	光ファイバケーブル敷設
4	線路図	2 部	光ファイバケーブル敷設
5	光系統図	2 部	光ファイバケーブル敷設
6	光ファイバケーブル心線接続図	2 部	光ファイバケーブル敷設
7	光ファイバケーブル心線収容表	2 部	光ファイバケーブル敷設
8	スプリッタ収容表	2 部	光ファイバケーブル敷設

9	架機器配置図	2 部	光ファイバケーブル敷設
10	位置図(区割図)	2 部	光ファイバケーブル敷設 地下埋設設備
11	管路図	2 部	地下埋設設備
12	平面図	2 部	地下埋設設備
13	横断図	2 部	地下埋設設備
14	展開図	2 部	光ファイバケーブル敷設 地下埋設設備
15	占用許認可及び関係機関一覧	2 部	共通
16	各種試験成績表	2 部	共通
17	工事記録写真	2 部	共通
18	完成写真	2 部	共通
19	その他発注者が必要と認める書類	適宜	共通

## 6 その他

コンクリート殻等の廃棄物については、受託者が産業廃棄物処理を実施すること。

## 第5章 機器・材料

### 1 加入者光ファイバケーブル

- (1) ファイバ種別はシングルモード(SM)型石英光ファイバであること。
- (2) 心線は4心テープ構造とする。
- (3) ケーブル構造は、丸型(WBE)ケーブルであること。
- (4) シース材質は標準厚 1.5 mmの黒色ポリエチレンシースであること。
- (5) 将来、通信方式が高速化・高度化しても対応できるように、PMD 値(偏波分散  $\lambda=1550\text{nm}$ )は  $0.1\text{ps}/\sqrt{\text{km}}$ 以下の光ファイバケーブルであること。
- (6) ファイバ心の許容曲げ半径は15mm 以上であること。

### 2 引込光ファイバケーブル

- (1) ファイバ種別はシングルモード(SM)型石英光ファイバであること。
- (2) 架空、地下配の両区間で使用可能であること。
- (3) ケーブル構造は、1 心細径IFドロップケーブルであること。
- (4) ファイバ心の許容曲げ半径は15mm 以上であること。

### 3 接続クロージャ

- (1) スーパーボックス内に収まるサイズであること。

スーパーボックスのサイズはH500、W500、L1,000 とする。

- (2) 配線点、分岐点、分配点で使用可能であること。
- (3) 主ケーブル以外に最大6条(両側に3穴ずつ)のケーブル分岐が可能であること。
- (4) 1 穴から最大8条のIFドロップが引き落とし可能であること。
- (5) スプリッタを最大 16 個、搭載可能なこと。

#### 4 ドロップクロージャ

- (1) フィンガーボックス内に収まるサイズであること。

フィンガーボックスのサイズはH400、W300、L300 とする。

- (2) スプリッタを1個、搭載可能であること。
- (3) IFドロップが最大12条引き落とし可能であること。

#### 5 埋設設備（スーパーボックス及びフィンガーボックス）

- (1) スーパーボックス

ア. クロージャが収容できる寸法(H500×W500×L1,000mm以上)であり、かつ壁取付金物で設置が可能なこと。

イ. 設計荷重 25 トンを満足すること。

ウ. 蓋中央に本十島村村章を刻印すること。

エ. 蓋は施錠可能とし、第三者が容易に開閉できない構造とすること。

- (2) フィンガーボックス

ア. クロージャが収容できる寸法(H400×W300×L300mm以上)であり、かつ壁取付金物で設置が可能なこと。

イ. 蓋中央に本十島村村章を刻印のこと。

### 第6章 豊富な機能を有したブロードバンド回線サービスメニュー

#### 1 光ブロードバンド回線サービス

- (1) サービスメニュー

ア. 電話や映像サービスなど利用できること。

イ. プロバイダの選択肢が豊富にできること。

ウ. Wi-Fi やセキュリティなどのオプションサービスがあること。

エ. 個人や法人などが利用できるネットワークサービスがあること。

オ. 光回線を利用した電話サービスが提供できること。なお、電話番号については既存の番号が利用可能であること。

- (2) 通信速度

ア. 利用者ニーズに応じて最大概ね 1Gbps までの通信速度を選択できること。

## 2 広域イーサネット回線サービス若しくはそれに相当する機能を有した回線サービス

### (1) サービス提供エリア

- ア. 府県を跨りシームレスな通信が提供可能であること。
- イ. 他通信事業者との連携により全国規模での通信が可能であること。

### (2) ネットワークサービス要件

#### ア. サービス提供形態

- ・帯域確保型及び一部帯域確保型での提供が可能であること。

#### イ. 信頼性

- ・高水準のサービス品質保証(SLA)が設定されていること。
- ・中継区間、アクセス区間の冗長構成が可能であること。

#### ウ. 拡張性

- ・1Mbps～1Gbps 以上の幅広い確保帯域速度が可能であること。

#### エ. 柔軟性

- ・エントリーVPN サービスとの接続が可能であること。
- ・1 つのネットワークを複数グループに分割することが可能であること。
- ・法人向け光 IP 電話サービスのアクセス回線として利用可能であること。
- ・通信の重要度に応じて、通信の優先順位設定が可能であること。
- ・お客様宅内装置機器のレンタル提供が可能であること。

#### オ. 効率性

- ・ネットワークのトラフィック確認が可能であること。
- ・ONU までのネットワークの状態監視に加え、お客様宅内装置機器を含めた通信状態の正常性確認が可能であること。

## 第7章 運営、維持管理

### 1 IRU契約要件

#### (1) IRU契約要件

- ア. 事業者の同意なしに契約を破棄することができないこと。
- イ. 使用期間全体にわたる合理的な使用料金の設定がなされていること。
- ウ. 所有者によって対象物件に第三者担保権が設定されていないこと。
- エ. 使用契約期間について、使用契約が安定的であると認められる以下のいずれかの要件を満たしていること。
  - (ア) 使用契約期間が10年以上であること。
  - (イ) 使用契約期間が1年以上であり、かつ、契約書において以下の点が確認されていること。ただし、使用契約期間の累計が10年を超える場合における当該超える部分に相当する契約については、この限りでない。

- ・契約の自動更新の定めがあること
- ・事業者の同意がない限り、更新を拒否することができないこと
- (ウ) その他(ア)、(イ)に類する特別の事情があると認められるものであること。

## 2 資産区分及びIRU契約対象範囲

### (1) 自治体資産の主な範囲

- ア. 新規に設置する光成端架
- イ. 口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、宝島における、局舎等設置個所及び小宝島BMHから各利用者施設等までの地下埋設管路、スーパーボックス及びフィンガーボックス
- ウ. 光成端架より各利用者施設等までの加入者光ファイバケーブル、接続クロージャ、ドロップクロージャ、引込光ファイバケーブル、光収容箱

### (2) IRU契約対象範囲、内容

- ア. 有償IRU契約対象設備については、「光成端架」、「加入者光ファイバケーブル」、「接続クロージャ」、「ドロップクロージャ」、「引込光ファイバケーブル」、「光収容箱」とする。
- イ. 無償IRU契約対象設備については、「地下埋設管路」、「スーパーボックス」及び「フィンガーボックス」とする。なお、詳細は、図 6-1 資産区分及びIRU契約対象範囲を参照すること。

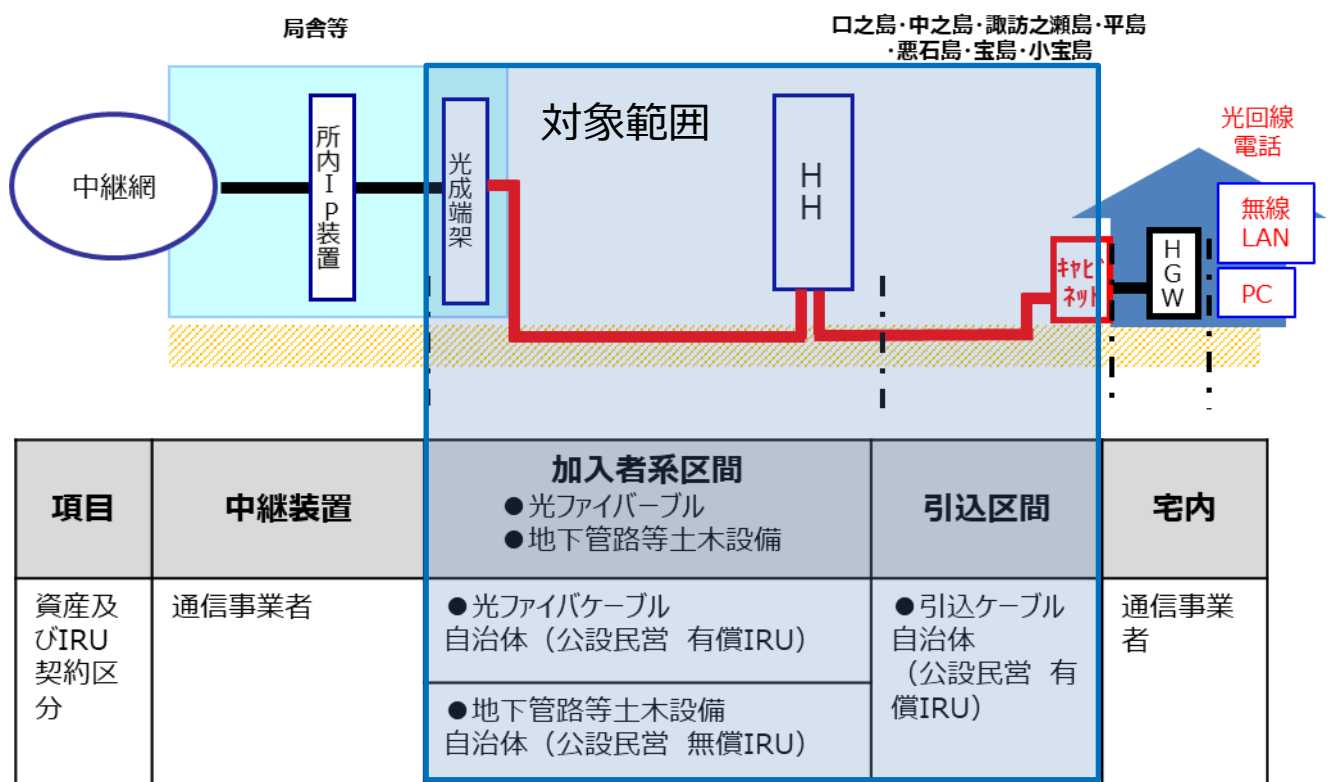


図 6-1 資産区分及びIRU契約対象範囲



(3)所内 IP 装置、宅内設備は事業者自ら構築すること。

### **3 有償 I R U契約対象設備の保守内容及び保守要件**

#### **(1) 加入者光ファイバケーブル**

電気通信事業法第41条(電気通信設備の維持)及び事業用電気通信設備管理規定ならびに係法令等を遵守し保守業務を適正かつ円滑に実施すること。

なお、具体的保守業務内容、要件は以下のとおりである。

##### **ア. 保全、点検業務**

加入者光ファイバケーブルの適正な維持管理のため、定期的に点検作業を実施し報告すること。また、点検結果に基づき不良設備が発見された場合は協議の上、補修等の提案をすること。

##### **(ア) 点検作業**

- ・定期巡回点検
- ・自然災害後の巡回点検
- ・第3者工事に伴う立会い、不良設備の発見

##### **イ. 故障修理業務**

加入者光ファイバケーブルの適正な維持管理のため、定期的に点検作業を実施し報告すること。また、点検結果に基づき不良設備が発見された場合は協議の上、補修等の提案をすること。